



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月3日

上場会社名 旭化成株式会社 上場取引所 東大名札幌  
 コード番号 3407 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 健嗣  
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）水野 雄氏（TEL）03(3296)3008  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,203,902	3.9	87,102	△7.9	88,001	△2.0	48,059	△4.4
23年3月期第3四半期	1,158,739	13.3	94,528	136.5	89,830	136.1	50,250	143.9

（注）包括利益 24年3月期第3四半期 45,569百万円（16.2%） 23年3月期第3四半期 39,222百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	34.38	—
23年3月期第3四半期	35.94	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	1,437,772	702,454	48.0	493.71
23年3月期	1,425,879	675,602	46.5	474.59

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 690,065百万円 23年3月期 663,566百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,624,000	1.6	104,000	△15.4	104,000	△12.0	53,000	△12.1	37.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	1,402,616,332株	23年3月期	1,402,616,332株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	4,892,750株	23年3月期	4,420,688株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,397,926,305株	23年3月期3Q	1,398,344,507株
----------	----------------	----------	----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) セグメント別売上高及び営業利益 .....	12
(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間) .....	13
(3) 主要項目の状況(連結) .....	13
(4) 住宅 請負事業の状況 .....	13
(5) その他の項目 .....	14
(6) 有利子負債残高(連結) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ① 業績全般

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月～12月、以下「当第3四半期」)における世界経済は、欧州の財政危機による景気後退や、期前半には堅調を維持していた中国をはじめとする新興国における成長の鈍化など、不透明な状況で推移しました。また、日本経済は、東日本大震災の影響による生産活動停滞からの復旧を果たしたものの、タイの洪水による影響や歴史的な円高により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、当社、連結子会社及び持分法適用会社(以下「当社グループ」)の当第3四半期における連結業績は、好調な受注を背景に住宅事業において引渡戸数が増加したことなどにより、売上高は1兆2,039億円で前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)452億円(3.9%)の増収となりました。一方、原燃料価格の高騰や円高の影響を受けたケミカル事業や、販売価格の下落の影響を受けたエレクトロニクス事業の落ち込みなどにより、営業利益は871億円で前年同期比74億円(7.9%)の減益、経常利益は880億円で前年同期比18億円(2.0%)の減益となりました。また、四半期純利益は、日本の税制改正による繰延税金資産取崩しの影響を受けたことなどから481億円で、前年同期比22億円(4.4%)の減益となりました。

#### ② セグメント別概況

当社グループの6つの報告セグメント「ケミカル」「住宅」「医薬・医療」「繊維」「エレクトロニクス」「建材」及び「その他」に区分してご説明します。

##### 「ケミカル」セグメント

売上高は5,598億円で、前年同期比49億円(0.9%)の増収となりましたが、営業利益は433億円で、前年同期比106億円(19.6%)の減益となりました。

石化・モノマー系事業では、アクリロニトリルなどのモノマー系製品の海外市況が期前半に上昇したものの、ナフサをはじめとする原燃料価格の高騰や円高の影響を大きく受け、交易条件は悪化しました。ポリマー系事業は、各製品において原燃料価格の高騰や円高の影響を受け、エンジニアリング樹脂は震災の影響もあり販売量が減少しましたが、タイヤ向け合成ゴムは好調に推移しました。高付加価値系事業では、イオン交換膜の販売量が増加し、「サランラップ<sup>™</sup>」などの消費材事業も堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・減益となりました。

##### 「住宅」セグメント

売上高は3,090億円で、前年同期比450億円(17.0%)の増収となり、営業利益は288億円で、前年同期比108億円(60.4%)の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は2,694億円で、前年同期比95億円(3.6%)の増加となりました。

建築請負事業では、戸建住宅「ヘーベルハウス<sup>™</sup>」や集合住宅「ヘーベルメゾン<sup>™</sup>」の引渡戸数が増加しました。また、分譲事業において分譲マンションの売上が増加したことや、住宅周辺事業も堅調であったことから、セグメント全体では増収・増益となりました。

##### 「医薬・医療」セグメント

売上高は907億円で、前年同期比24億円(2.7%)の増収となり、営業利益は94億円で、前年同期比17億円(22.4%)の増益となりました。

医薬事業では、MR(医薬情報担当者)の増強などにより販売管理費が増加したものの、血液凝固阻止剤「リコモジュリン<sup>™</sup>」や排尿障害改善剤「フリバス<sup>™</sup>」の販売量が増加したことに加え、新たに上市した骨粗鬆症治療薬「テリボン<sup>™</sup>」も販売量の増加に寄与しました。医療事業では、円高の影響などを受けましたが、ウイルス除去フィルター「プラノバ<sup>™</sup>」の販売量が増加しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「繊維」セグメント

売上高は834億円で、前年同期比17億円(2.0%)の増収となりましたが、営業利益は27億円で、前年同期比9億円(25.4%)の減益となりました。

再生セルロース繊維「ベンベルグ<sup>™</sup>」が堅調に推移したことに加え、エアバッグ用途を中心としたナイロン66繊維「レオナ<sup>™</sup>」やスパンボンド不織布などで販売量が増加しましたが、原燃料価格の高騰や円高の影響を受け、セグメント全体では増収・減益となりました。

## 「エレクトロニクス」セグメント

売上高は1,132億円で、前年同期比84億円(6.9%)の減収となり、営業利益は66億円で、前年同期比73億円(52.6%)の減益となりました。

電子部品系事業におけるスマートフォン向けミクスドシグナルLSI、電子材料系事業におけるリチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア<sup>™</sup>」などにおいて販売は堅調に推移しましたが、全体的な事業環境の悪化などによる販売量の伸び悩みや、販売価格の下落、円高の影響などを受け、セグメント全体では減収・減益となりました。

## 「建材」セグメント

売上高は350億円で、前年同期比21億円(5.7%)の減収となり、営業利益は17億円で、前年同期比7億円(28.3%)の減益となりました。

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル<sup>™</sup>」が販売量、販売価格ともに回復基調にあったものの、基礎事業や断熱材事業などが低調に推移したことから、セグメント全体では減収・減益となりました。

## 「その他」

エンジニアリング事業や人材派遣・紹介事業からなる「その他」は、売上高は129億円で、前年同期比18億円(15.9%)の増収となり、営業利益は21億円で、前年同期比11億円(115.4%)の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が249億円減少したものの、たな卸資産が421億円、無形固定資産が103億円増加したことなどから、前連結会計年度末(以下「前年度末」)に比べて119億円増加し、1兆4,378億円となりました。

有利子負債は、借入金を返済したことなどにより、前年度末に比べて292億円減少し、2,248億円となりました。

純資産は、配当金の支払182億円や為替換算調整勘定の減少82億円があったものの、四半期純利益を481億円計上したことなどから、前年度末に比べて269億円増加し、7,025億円となりました。この結果、自己資本比率は48.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加424億円、法人税等の支払額463億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益831億円、減価償却費579億円、仕入債務の増加227億円などの収入があったことから、856億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出434億円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出71億円、無形固定資産の取得による支出55億円などがあったことから、621億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの増加210億円などによる収入があったものの、短期借入金の減少322億円、長期借入金の返済による支出196億円、配当金の支払182億円などがあったことから、497億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物の為替換算による減少額21億円、連結の範囲の変更による増加額15億円、

関係会社の報告期間変更による増加額5億円があったことから、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より262億円減少し、1,082億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高については、石化・モノマー系事業を中心に製品市況が想定を下回った「ケミカル」セグメントや電子部品系事業・電子材料系事業ともに需要が落ち込んでいる「エレクトロニクス」セグメントが減収となることなどから、グループ全体としては、前回予想に対し、600億円減収の1兆6,240億円となる見通しです。営業利益、経常利益については、「ケミカル」セグメントや「エレクトロニクス」セグメントなどで前回予想を下回る見込みであることから、グループ全体としては前回予想に対し、減益となる見通しです。また、当期純利益については、日本の税制改正による繰延税金資産取崩しの影響などにより、215億円減益の530億円となる見通しです。

以上により、平成23年11月2日に公表した連結業績予想を修正しました。

(通期)

(単位：億円)

	前回予想(A) 平成23年11月2日公表	今回修正(B)	増減額 (B-A)	前連結会計年度 実績
売上高	16,840	16,240	△600	15,984
営業利益	1,240	1,040	△200	1,229
経常利益	1,255	1,040	△215	1,182
当期純利益	745	530	△215	603

(注) これらの業績予想はナフサ価格¥54,525/k1、為替レート¥79/\$・¥108/€(当連結会計年度平均)を前提条件としています。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

### (2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	140,319	115,439
受取手形及び売掛金	273,414	266,609
有価証券	371	63
商品及び製品	129,898	142,468
仕掛品	76,551	102,361
原材料及び貯蔵品	49,799	53,534
繰延税金資産	23,131	24,855
その他	63,240	60,646
貸倒引当金	△1,072	△1,112
流動資産合計	755,651	764,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	409,263	411,174
減価償却累計額	△231,474	△233,721
建物及び構築物（純額）	177,789	177,454
機械装置及び運搬具	1,192,132	1,198,245
減価償却累計額	△1,047,912	△1,064,656
機械装置及び運搬具（純額）	144,220	133,589
土地	55,243	54,909
リース資産	8,581	10,769
減価償却累計額	△3,118	△4,359
リース資産（純額）	5,463	6,411
建設仮勘定	22,173	27,316
その他	118,718	121,898
減価償却累計額	△105,252	△108,467
その他（純額）	13,466	13,431
有形固定資産合計	418,354	413,109
無形固定資産		
のれん	5,087	10,329
その他	26,015	31,081
無形固定資産合計	31,101	41,410
投資その他の資産		
投資有価証券	166,317	165,905
長期貸付金	5,181	5,780
繰延税金資産	22,005	20,794
その他	27,507	26,137
貸倒引当金	△237	△225
投資その他の資産合計	220,773	218,391
固定資産合計	670,228	672,910
資産合計	1,425,879	1,437,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,407	157,857
短期借入金	108,889	66,131
コマーシャル・ペーパー	23,000	44,000
リース債務	1,522	2,011
未払法人税等	24,085	10,150
未払費用	97,745	81,036
前受金	52,346	61,315
修繕引当金	3,239	5,054
製品保証引当金	2,465	2,122
資産除去債務	512	508
その他	39,668	52,564
流動負債合計	489,878	482,747
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	91,722	83,215
リース債務	3,802	4,415
繰延税金負債	6,374	8,091
退職給付引当金	107,309	106,945
役員退職慰労引当金	1,119	753
修繕引当金	2,131	1,699
資産除去債務	3,316	3,165
長期預り保証金	18,340	18,073
その他	1,284	1,214
固定負債合計	260,399	252,571
負債合計	750,277	735,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,389	103,389
資本剰余金	79,402	79,404
利益剰余金	478,681	508,806
自己株式	△2,115	△2,372
株主資本合計	659,357	689,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,647	34,302
繰延ヘッジ損益	△140	△14
為替換算調整勘定	△25,299	△33,449
その他の包括利益累計額合計	4,209	839
少数株主持分	12,036	12,389
純資産合計	675,602	702,454
負債純資産合計	1,425,879	1,437,772



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,158,739	1,203,902
売上原価	855,679	901,817
売上総利益	303,059	302,085
販売費及び一般管理費	208,532	214,984
営業利益	94,528	87,102
営業外収益		
受取利息	793	1,065
受取配当金	1,852	2,169
持分法による投資利益	2,171	954
その他	2,385	3,835
営業外収益合計	7,201	8,022
営業外費用		
支払利息	2,574	2,072
為替差損	4,748	1,781
その他	4,577	3,270
営業外費用合計	11,899	7,123
経常利益	89,830	88,001
特別利益		
投資有価証券売却益	260	98
固定資産売却益	417	409
貸倒引当金戻入額	155	—
事業譲渡益	781	—
段階取得に係る差益	—	2,277
特別利益合計	1,612	2,784
特別損失		
投資有価証券評価損	422	3,606
固定資産処分損	2,962	2,237
減損損失	59	179
環境対策費	706	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,240	—
災害による損失	—	997
事業構造改善費用	8,725	648
特別損失合計	14,114	7,667
税金等調整前四半期純利益	77,328	83,118
法人税等	25,681	33,768
少数株主損益調整前四半期純利益	51,647	49,350
少数株主利益	1,397	1,291
四半期純利益	50,250	48,059

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,647	49,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,102	4,759
繰延ヘッジ損益	165	126
為替換算調整勘定	△5,441	△5,932
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,047	△2,734
その他の包括利益合計	△12,424	△3,781
四半期包括利益	39,222	45,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,101	44,689
少数株主に係る四半期包括利益	1,122	880

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	77,328	83,118
減価償却費	61,911	57,906
減損損失	59	179
のれん償却額	832	804
負ののれん償却額	△199	△173
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△4,398	1,383
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,161	△345
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,329	△322
受取利息及び受取配当金	△2,645	△3,233
支払利息	2,574	2,071
持分法による投資損益 (△は益)	△2,171	△954
投資有価証券売却損益 (△は益)	△260	△98
投資有価証券評価損益 (△は益)	422	3,606
固定資産売却損益 (△は益)	△417	△409
固定資産処分損益 (△は益)	2,962	2,237
事業譲渡損益 (△は益)	△781	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△2,277
売上債権の増減額 (△は増加)	△42,942	3,464
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,457	△42,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	35,803	22,665
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,062	△16,474
前受金の増減額 (△は減少)	23,563	8,988
その他	1,124	10,224
小計	104,756	129,930
利息及び配当金の受取額	3,370	4,122
利息の支払額	△2,667	△2,157
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△24,455	△46,287
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>81,003</b>	<b>85,608</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,322	△11,762
定期預金の払戻による収入	—	9,986
有形固定資産の取得による支出	△44,510	△43,431
有形固定資産の売却による収入	709	1,021
無形固定資産の取得による支出	△3,026	△5,468
投資有価証券の取得による支出	△3,541	△4,309
投資有価証券の売却による収入	723	483
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△7,080
連結子会社株式の追加取得による支出	△408	—
事業譲渡による収入	2,646	—
貸付けによる支出	△3,747	△4,006
貸付金の回収による収入	4,172	3,739
その他	△1,021	△1,234
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△54,325</b>	<b>△62,061</b>

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△32,270	△32,173
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	25,000	21,000
長期借入れによる収入	4,417	1,355
長期借入金の返済による支出	△13,997	△19,630
リース債務の返済による支出	△974	△1,346
自己株式の取得による支出	△94	△281
自己株式の処分による収入	15	18
配当金の支払額	△13,984	△18,173
少数株主への配当金の支払額	△387	△772
その他	35	295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,238	△49,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,738	△2,075
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,298	△28,235
現金及び現金同等物の期首残高	93,125	134,450
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	876	1,528
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	469
現金及び現金同等物の四半期末残高	86,704	108,212

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別売上高及び営業利益

## (a) 連結売上高

(億円)

	H23/3期	H24/3期	増減額		H23/3期	H24/3期
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績			連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	5,549	5,598	49	0.9	7,422	7,280
住宅	2,640	3,090	450	17.0	4,092	4,530
医薬・医療	883	907	24	2.7	1,164	1,200
繊維	817	834	17	2.0	1,088	1,110
エレクトロニクス	1,216	1,132	△84	△6.9	1,583	1,470
建材	371	350	△21	△5.7	474	460
その他	111	129	18	15.9	160	190
合計	11,587	12,039	452	3.9	15,984	16,240

## (b) 連結営業利益

(億円)

	H23/3期	H24/3期	増減額		H23/3期	H24/3期
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績			連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	539	433	△106	△19.6	644	450
住宅	180	288	108	60.4	365	470
医薬・医療	76	94	17	22.4	70	90
繊維	36	27	△9	△25.4	42	30
エレクトロニクス	139	66	△73	△52.6	143	55
建材	24	17	△7	△28.3	21	15
その他	10	21	11	115.4	17	30
小計	1,003	945	△58	△5.8	1,302	1,140
消去又は全社	△58	△74	△16	—	△72	△100
合計	945	871	△74	△7.9	1,229	1,040

## (2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)

(億円)

	数量差	売値差	コスト差等		計
			内 為替因		
ケミカル	△11	196	△115	△291	△106
住宅	127	24	—	△43	108
医薬・医療	42	△20	△6	△5	17
繊維	3	4	△15	△16	△9
エレクトロニクス	53	△127	△26	0	△73
建材	△7	△1	—	0	△7
その他	9	0	0	3	11
小計	217	77	△162	△352	△58
消去又は全社	—	—	—	△16	△16
合計	217	77	△162	△368	△74

## (3) 主要項目の状況(連結)

		H23/3期	H24/3期	H24/3期
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	連結会計 年度見通し
設備投資額(有形)	億円	434	493	870
設備投資額(無形)	億円	30	54	80
減価償却費	億円	627	587	810
金融収支 (内 受取配当金)	億円	0 (19)	11 (22)	12 (25)
研究開発費	億円	460	481	660
四半期末人員	人	25,038	25,477	
D/Eレシオ		0.38	0.33	

## (4) 住宅 請負事業の状況

		H23/3期	H24/3期	増減		H24/3期
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	増減	増減率 %	連結会計 年度見通し
受注戸数	戸	11,247	11,705	458	4.1	16,065
受注高	億円	2,600	2,694	95	3.6	3,635
受注残高	億円	3,745	4,003	258	6.9	3,841
売上戸数	戸	7,564	9,183	1,619	21.4	14,525
売上高	億円	1,927	2,287	360	18.7	3,390

## (5) その他の項目

		H23/3期	H24/3期	増減	H24/3期
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		連結会計 年度見直し
ナフサ価格(国産ナフサ)	¥/kl	45,800	55,200	9,400	54,525
為替レート(相場平均)	¥/\$	87	79	△8	79
	¥/€	113	111	△3	108

## (6) 有利子負債残高(連結)

(億円)

	前年度末 実績	当第3四半期末 実績	増減額
短期借入金	1,089	661	△428
コマーシャル・ペーパー	230	440	210
長期借入金	917	832	△85
社債	250	250	—
リース債務	53	64	11
合計	2,539	2,248	△292